



練馬区若年層選挙啓発プロジェクト

武蔵大生のアイデアで投票率UP!

「若者の政治意識が低下する中、どのように選挙への関心を呼び起こせるか？」— 練馬区選挙管理委員会（以下、区選管）では、「若年層向け」の企画を積極的に展開している。

区内にある武蔵大学からインターンシップ生 11 人を受け入れ、同世代の目線から、若年層の投票率向上に結びつく啓発事業の企画・実施を協働している。仕掛け人は、区が今年 4 月に外部から登用した広報の専門家である「ねりまプロモーション係」の市橋係長。「広報のプロ」が学生たちを支援している。

港区の選挙啓発の学生プロジェクトとのコラボレーションや、区内の新成人に向けて、「オトナへようこそ」という学生デザインの啓発ハガキの郵送といった取り組みを行っている。また、同世代の仲間たちに徹底的に取材し、投票に行かない理由を分析してパンフレットを作成。これを、地元商店街と連携して、学生がデザインした選挙啓発グッズなどと一緒に街頭で配布する。インターンシップ生は、「同世代の仲間が選挙に行く雰囲気作りの一助になれば」と語った。



新成人あてハガキ

【武蔵大学選挙啓発インターンシップ生の取り組み】

区選管では、武蔵大学インターンシップ生（就業体験）11人に、同世代の目線で若年層の投票率向上に向けた啓発事業の企画・実施を任せている。今回で6回目となり、5月から週1回の定例会で検討を重ねてきた。

① 港区選管学生プロジェクトとコラボレーション（6月26日19時～）

同様の学生プロジェクトを実施している港区選管に行き合同プロジェクト会議を行い、意見交換。

② 新成人に啓発はがきを送付（6月10日）

今回の選挙が初めての投票となる区内在住の新成人に、投票を呼びかけるハガキを送付。ハガキの内容は学生のアイデアで、投票を大人になった権利として「オトナへようこそ」とよびかけた。ハガキの二次元バーコードで区の選挙ホームページへアクセスできるようにした。

③ 啓発パンフレット作成「選挙の夏 in2013」

仲間たちに徹底的に取材し、若年層が投票に行かない理由を4つに分析し、恋愛やおたく文化になぞらえたり、「40代に比べ20代の投票者数は1/2なので、このままだと若者は二人で一人前」といった内容の啓発パンフレットを作成した。

④ 街頭キャンペーンを実施：江古田駅周辺（6/19、16：30～）、練馬駅周辺（7/9、16：30～）で実施

6月19日 (都議選)	3つ大学がある江古田駅周辺で、パンフレットと学生デザインのウェットティッシュを配布し、投票を呼びかける。大学キャンパス近くの栄町町会も、投票率アップのために学生とタイアップして店頭でパンフレットを置いて協力。
7月9日 (参院選)	練馬駅周辺でインターンシップ生デザインの啓発チラシを貼った食品保存袋（スマホを入れてお風呂場で使う）やパンフレットを配布する。

⑤ インターシップ生、自らが期日前投票の投票立会人や開票作業に参加

【問い合わせ】 選挙管理委員会事務局情報啓発係 電話03-5984-1019